



復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

開催日	平成 29 年 4 月 22 日 (土)
時 間	15 : 00 ~ 15 : 40
場 所	大石地域交流センター
参加人数	24 人
議 題	① 土地利用計画について ② 今後の工事スケジュールについて ③ 屋形遺跡について ④ 大石地域交流センターの増築について

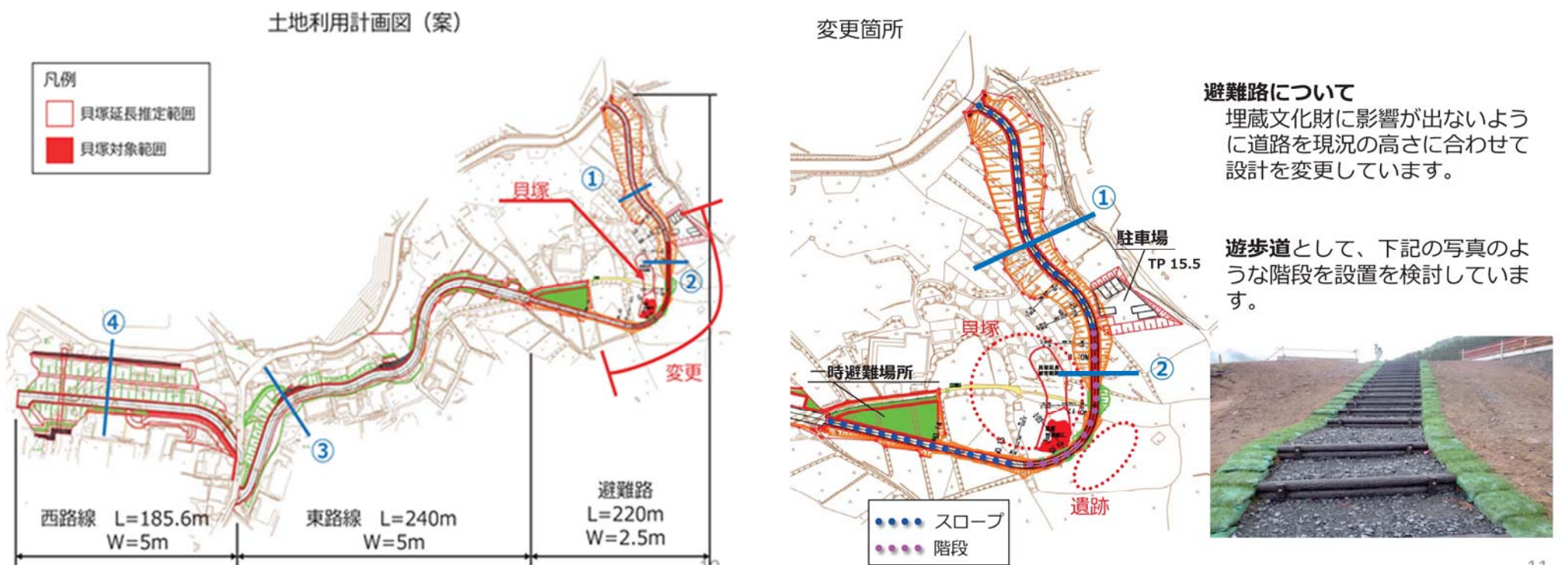
当日は、これらの議題について、担当より御説明いたしました。出席された皆様からは、土地利用計画の避難路・遊歩道の見直し、工事スケジュール、屋形遺跡に関する問題、石割桜のことなど、様々な御意見をいただきました。

工事スケジュールの遅れにつきましては、大石地区の皆様にお詫びを申し上げ、遅延の理由及び今後の対策について御説明いたしました。これ以上の遅延が生じないよう工事を進めるとともに、頂いた御意見を反映できるよう今後も取り組んでまいります。



議題の概要

土地利用計画について（避難路の見直し）



土地利用計画について

埋蔵文化財の発掘調査箇所のうち、保存の決まった貝塚のある東路線の避難路について設計を変更しました。

【別資料 8～13 ページ】

変更箇所： 駐車場から上の貝塚に関する区間は、地どおりの高さの遊歩道とします。また、階段の設置を検討しております。

今後のスケジュールについて

地区	項目	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度					
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
大石	復興まちづくり協議会・地権者連絡会	●	●											●									
	設計・協議(ボーリング調査含む)																						
	用地交渉																						
	埋蔵文化財調査																						
	道路工事(東・西路線)																						
	地域交流センターの増築工事																						
	復興住宅建設																						

設計・協議(ボーリング調査含む)を平成 29 年 12 月まで、道路工事を平成 30 年 1 月から平成 31 年 3 月末までと考えています。

【別資料 14 ページ】

屋形遺跡について

屋形遺跡の調査

貝塚は貝殻の成分により、通常残らない資料が発見されます。今回も釣針をはじめ、本来残らない貴重な遺物が多く出土しました。

- ① 貝塚調査状況
- ② 貝塚出土土器
- ③ 貝塚出土釣針
- ④ 貝塚の貝
- ⑤ 遺跡内出土土器



屋形遺跡の調査経過について

※屋形遺跡は1968年には公式に報告されている重要遺跡である。
※保存部以外の調査済み地点は工事着工可の状態である。

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
復興本部	設計・計画中						計画変更					
調査		確認調査					開始	終了				
		10月~12月					5月	1月末日				
		【岩手県】										
保存に向けた協議									有識者委員会	文化庁視察	確認調査有識者委員会	
									8月大石で貝塚の説明			

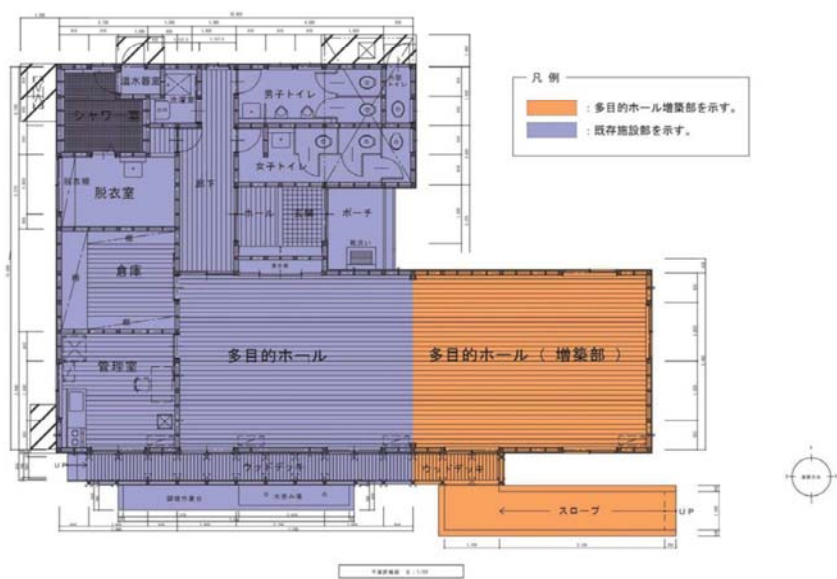
屋形遺跡の文化庁視察が終わりました。

文化庁専門調査官による視察では、予想を超える高評価をいただきました。今後は確認調査や有識者委員会を行います。

【別資料 15~18 ページ】

大石地域交流センターの増築について

平面図



工事概要

- ① 多目的ホールの増築 面積約 40 m² → 80 m²
- ② 多目的ホールへのエアコン設置
- ③ スロープの設置 等

今後のスケジュール (予定)

- ① 設計完了 平成 29 年 3 月 31 日
- ② 工事発注 平成 29 年 6 月
- ③ 工期 約 3 カ月

このような御意見をいただきました

● 避難路の遊歩道の砂利道は変更できるのか？ また階段の勾配はどの程度か？

遊歩道で貝塚周辺の区間は、漁港の方に水が流れ出さないよう砂利道により計画しております。舗装、アスファルト等の検討は、地域の皆様の御意見によります。

貝塚を掘らないよう地山どおりの造成となりますので、駐車場から上は車で上がることが出来ない急な（県道から大石へ下がってくる道路よりも急な）傾斜となります。

● 工事は工程表どおりにいくのか？

工程表どおりに進める予定です。詳細設計が決まり次第、用地買収に入ります。

● 真っ直ぐな川を建設しても、暗渠が水を吸収しないことが過去にあったので、設計する人に情報提供してほしい。

現場を確認のうえ設計に反映いたします。出水場所につきましては、地元の方々の御意見を取り入れまして計画を実施いたします。

● 地権者が困っているのでは、遺跡整備は早く行っていただきたい。また遺跡のところに展示する建物は建つのか？

遺跡の発掘調査は終了しておりますので、保存の決定した貝塚部分について、専門家と相談しながら、史跡指定に向けて進めてまいります。また建物がどうなのか今のところ申し上げられません。鈴子にある釜石市郷土資料館の中の常設展で大石から出てきたものを貝塚パネルで展示しております。

● 文化財の保存に、国が費用面の面倒をみてくれるのか？

国の指定史跡になれば、国から補助金が交付されます。認定されるように尽力いたします。

● 石割桜の維持経費を出してもらいたい。地元で責任をもって管理する。

釜石市の文化財審議会において、大石の石割桜について協議し、方向性を決めていきたい。もう少々お時間をいただきたい。



復興事業については、可能な限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。1日も早い工事の完成に向け、今後も全力で取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については「広報かまいし」や市のホームページでも公開しています。併せてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部
TEL : 0193-27-8479
FAX : 0193-22-2686